

成果目標

(1) 施設入所者の地域生活への移行

【第5期障がい福祉計画】P40

・地域生活の支援体制が十分に整っているとはいきれない現状のサービスの枠組みの中で、現在の施設入所者について地域生活移行を行うことは、かえってQOLの低下につながるが見込まれます。

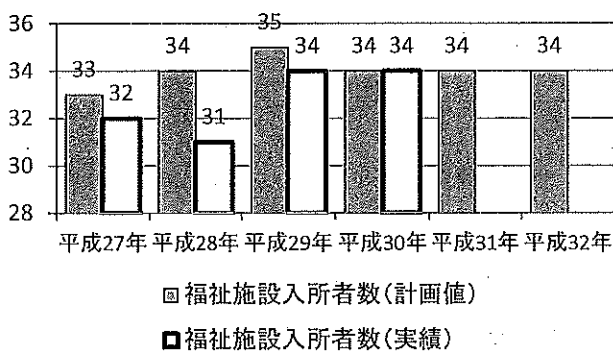
・地域移行者数についての成果目標を設定することは困難な状況のため0人としています。

・今後、施設入所を希望される人については、グループホームなど、地域で暮らせる体制整備を進めていく必要があります。

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
福祉施設入所者数(計画値)	人	33	34	35	34	34	34
福祉施設入所者数(実績)	人	32	31	34	34		

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
地域生活移行者数(計画値)	人	0	0	0	0	0	0
地域生活移行者数(実績)	人	0	1	1	1		

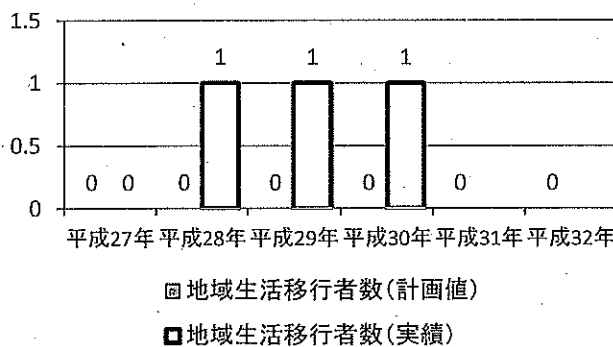
福祉施設の入所者数



【現状評価】

平成28年度中は1人がグループホームへ入居、地域生活移行され施設を退所した。平成29年度は、施設への新規入所2人、訓練等サービス利用による入所が2人、訓練を終えられて退所された人が1人の異動状況。平成30年度は、訓練等サービス利用による入所が1人、退所が1人で、2月時点で昨年とかわらない34人の入所者数である。

入所施設からの地域生活移行者数



【現状評価】

平成28年度中に施設入所から1人グループホームへ移行。平成29年度、平成30年度は訓練等サービスを終えられ退所された方がそれぞれ1人在宅生活へ戻られた。

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

【第5期障がい福祉計画】

保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置について平成32年度末までに甲賀福祉圏域で設置をめざします。

・長期入院に至っている人が、自ら望む生活を選びとっていけるよう、退院後の地域生活移行および地域定着の促進に関する協議の場の設置について、甲賀地域障害児・者サービス調整会議で進めます。

(3) 地域生活支援体制の強化

【第5期障がい福祉計画】

地域生活支援拠点等として緊急時に対応できる機能を有する体制について平成32年度末までに甲賀福祉圏域で設置をめざします。

・既存の社会資源の活用を視野に入れて、どの機能を充実・強化させて、どのような体制を構築するか、地域として具体的に進めるための検討を、甲賀地域障害児・者サービス調整会議で行い、平成32年度末までの整備を成果目標とします。

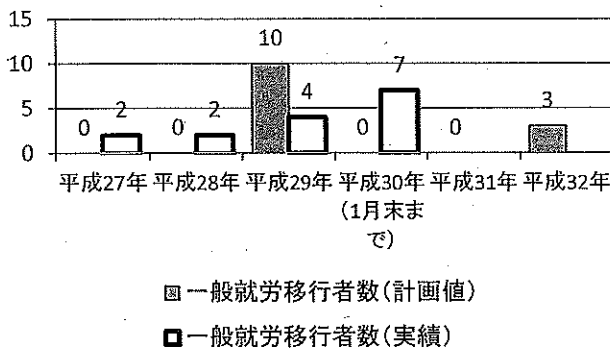
(4) 福祉施設から一般就労への移行等

【第5期障がい福祉計画】

甲賀地域障害児・者サービス調整会議や就労支援関係機関および湖南市障がい者就労情報センター、チャンスワークこなん等で築いてきた、企業、就労支援機関、福祉関係者などのネットワークを発展させ、既存の就労相談機関などとの役割分担を図りながら、一般就労に向けた取り組みを支援していきます。

	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年 (1月末まで)	平成31年	平成32年
一般就労移行者数(計画値)	人	—	—	10	—	—	3
一般就労移行者数(実績)	人	2	2	4	7		
就労移行支援事業の利用者数(計画値)	人	20	25	31	14	15	15
就労移行支援事業の利用者数(実績)	人	14	17	9	4		

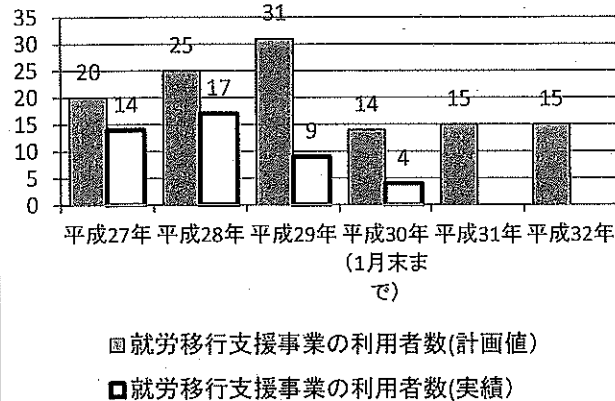
一般就労移行者数(年間)



【現状評価】

福祉的就労から一般就労へ移行したのは平成27年度中は2人。平成28年度中も2人、平成29年度は4人が移行された。平成30年度は1月までで8人の方が一般就労へ移行。一般就労移行後も働き暮らし応援センターなどの支援機関等が継続して関わっていただけるような取り組みを行ってられる。

就労移行支援事業の利用者数



【現状評価】

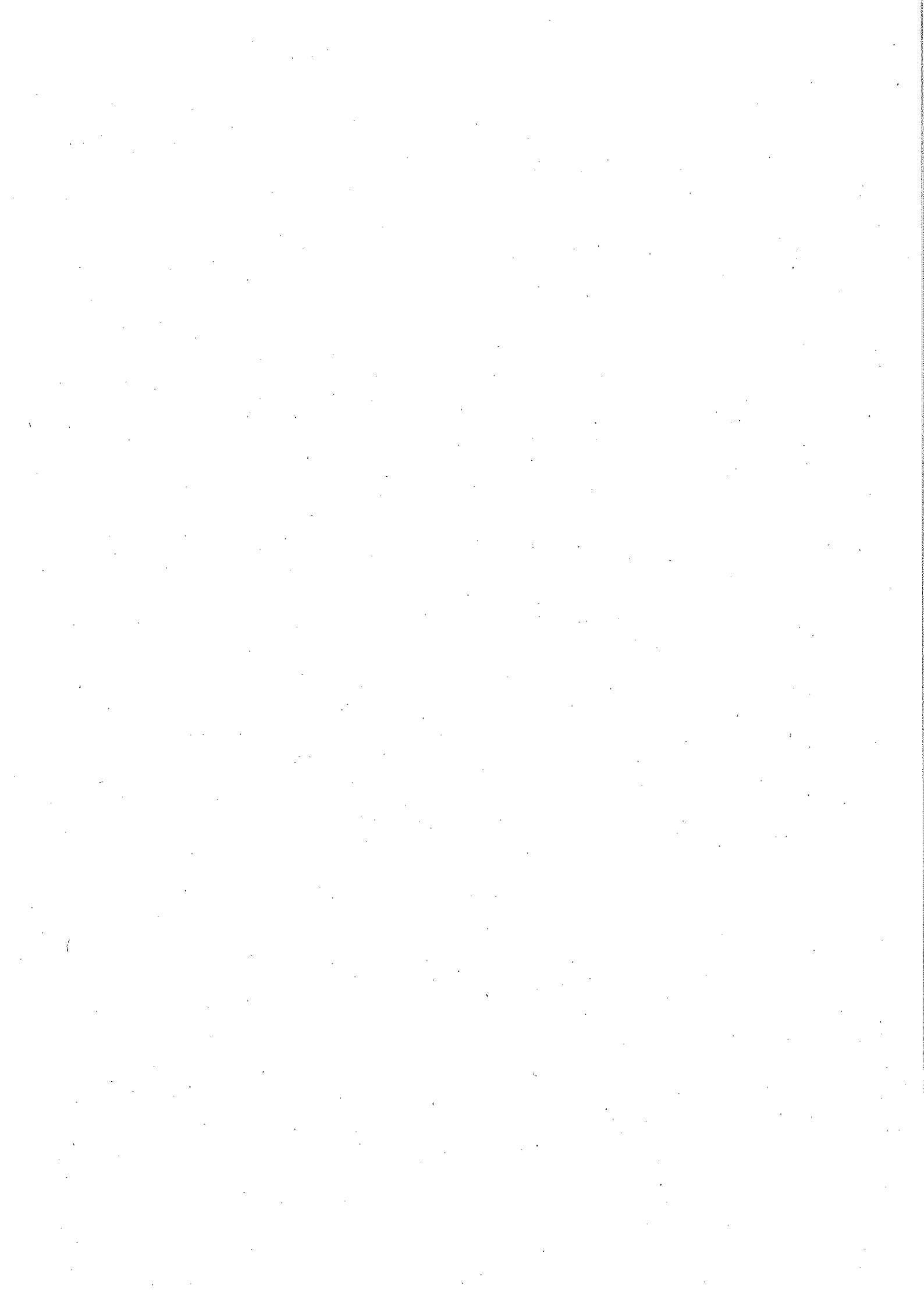
市内の就労移行支援事業所1か所が平成29年度で事業を終了され、甲賀圏域では信楽にある事業所2か所のみである。

平成28年度の利用は高校3年生の就労アセスメントでの利用が多い。17名中、4名は一般就労へ移行した。平成29年度の利用は高校3年生の利用は1人のみで、平成30年度は高校3年生の利用も多い。

(5) 障がい児支援の提供体制の整備等

【第5期障がい福祉計画】

- ・主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所を平成31年度末までに甲賀福祉圏域で一か所設置をめざします。
- ・医療的ケア児支援協議の場の設置を平成32年度末までにめざします。



支援・サービスの実績

<居宅介護等> 平均延利用時間/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用時間/月	1,515	1,586	1,659	1,654	1,753	1,858
実利用人数/年	181	191	201	153	154	155
実績						
延利用時間/月	1,304	1,390	1,513	1,366		
実利用人数/年	158	159	151	147		
達成率						
延利用時間/月	86%	88%	91%	83%		
実利用人数/年	87%	83%	75%	96%		

居宅介護等の月平均利用時間数は、実績において毎年少しずつ増えている。行動援護および居宅介護の絶対的なサービス供給量不足であることは否めない。休日や放課後の時間など予約をとりにくい状況である。

(内訳)

居宅介護	998(118)	952(125)	1013(120)	936(117)
重度訪問	65(2)	225(2)	314(2)	247(2)
行動援護	135(17)	131(17)	122(18)	117(17)
同行援護	106(21)	82(15)	64(11)	66(11)

月あたり時間(人)

※湖南市の居宅介護事業所…れがーと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルプステーション、ほだいしヘルプステーション

※湖南市の行動援護事業所…れがーと、落穂寮

※湖南市の同行援護事業所…、湖南市社協、アザレア、八起会ホームヘルプステーション

※湖南市の重度訪問介護事業所…れがーと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルプステーション

支援・サービスの実績

平均延利用日数/年、実利用人数/年

<生活介護>

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	1,947	2,043	2,140	1,970	2,049	2,131
実利用人数/月	101	106	111	115	118	121
実績						
延利用日数/月	1,728	1,863	1,839	1,924		
実利用人数/月	99	100	99	99		
達成率	89%	91%	86%	98%	0%	0%
実利用人数/月	98%	94%	89%	86%	0%	0%

※圏域の生活介護事業所(通所)…るりこう、やまなみ、第2さわらび、ワークセンター紫香菜、バンパ
ン、さつき、落穂寮

※その他利用のある生活介護事業所(通所)…重症心身障害者通所施設 さんさん

※圏域の生活介護事業所(入所)…るりこう、信楽青年寮、落穂寮、もみじ、あざみ、一麦

<療養介護>

実人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
実利用人数/年	10	10	10	10	10	10
実績						
実利用人数/年	10	10	10	10		
達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%

※利用中の療養介護事業所…びわこ学園医療福祉センター草津・野洲、医療福祉センターきずな(兵
庫県)、紫香菜病院

今後も、特別支援学校新卒者の進路保障のために、
定員増または新規事業者の参入が望まれる。
重症心身障がい者を対象者とする生活介護事業所が
平成31年4月新規開所予定である。

児童福祉法の対象であった重症心身障害児施設に入
所中の18歳以上の者が、H24から療養介護の対象と
なった。

県内でも利用希望者が多いことから、新規の入所利用
は困難な状況にある。
びわこ学園への入所については、県により入所調整
会議が行われている。

支援・サービスの実績

<就労継続支援事業A型> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	300	315	330	486	510	535
実利用人数/年	20	21	22	29	30	31
実績						
延利用日数/月	411	484	466	567		
実利用人数/年	28	31	30	31		
達成率						
延利用日数/月	137%	154%	141%	117%	0%	0%
実利用人数/年	140%	148%	136%	107%	0%	0%

※圏域の就労A事業所…ウエルメント水口、エルデイ、春の日、陽だまりサテライト

<就労継続支援事業B型>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	1,462	1,540	1,618	1,850	1,942	2,000
実利用人数/年	94	99	104	111	118	121
実績						
延利用日数/月	1,526	1,607	1,756	1,728		
実利用人数/年	102	106	114	116		
達成率						
延利用日数/月	104%	104%	109%	93%	0%	0%
実利用人数/年	109%	107%	110%	105%	0%	0%

※圏域の就労継続B型事業所…バンバン、いしべ、しあわせ、虹、さつき、サニーサイド、さわらび、甲賀福祉、土山福祉、やまなみ、ゆとりあ、信楽くるみ、ワークセンター紫香葉、アイ・コラ、エルデイ

一般就労で働きにくくなった人が、雇用関係を結び最低賃金が保障される就労継続支援事業A型での就労を希望されるケースは年々高くなっていく。

今後は、就労継続支援A型から一般就労へとつなげていけるような支援体制の構築が望まれている。

事業所が就労継続支援B型や生活介護の立ち上げや定員のシフトを行い、さらに複数の事業所が定員を超えて(125%まで)の受け入れを行っていた。

近年、就労継続支援B型の利用者は増える一方で、特別支援学校新卒者の受け皿づくりや中途障がいの方の受け入れなどが課題となっている。

支援・サービスの実績

<就労移行支援> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	231	289	347	110	115	120
実利用人数/年	20	25	31	14	15	15
実績						
延利用日数/月	123	114	32	42		
実利用人数/年	14	17	9	9		
達成率	53%	39%	9%	38%	0%	0%
	70%	68%	29%	64%	0%	0%

甲賀圏域においては平成26年度と平成29年度に、多機能型事業所の中で就労移行支援事業が相次いで廃止され、現在は、信楽にある事業所2か所のみで実施している。

特別支援学校卒業後の就労継続支援B型の利用には就労移行支援事業所によるアセスメントが必要であり、時期が集中して利用される場合があるので、就労移行支援事業の定員確保を計画的に行う必要がある。

※圏域の就労移行支援事業所…ワークセンター紫香楽、信楽くるみ

<就労定着支援>

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
実利用人数/年				2	2	2
実績				1		
達成率				50%	0%	0%

平成30年度から始まったサービス。1月時点で甲賀圏域ではサービス提供事業所の参入はないが、他圏域の事業所によるサービスを利用される方が出てきた。圏域内でも今後の事業所のサービスの参入が期待される。

<自立訓練(機能訓練)>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	18	18	18	27	27	27
実利用人数/年	2	2	2	2	2	2
実績						
延利用日数/月	21	21	39	35		
実利用人数/年	2	1	3	3		
達成率	117%	117%	217%	130%	0%	0%
	100%	50%	150%	150%	0%	0%

地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上などの支援が必要なものに対して行う訓練や、生活等に関する相談および助言などを行う標準利用期間が設定されているサービス。

中途障がいになられた方が、病院を退院後、在宅での生活が続けられるように利用される方の希望が多くなってきている。

※機能訓練の事業所…むれやま荘

支援・サービスの実績

<自立訓練(生活訓練)>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	138	156	174	130	130	130
実利用人数/年	15	17	19	21	21	21
実績						
延利用日数/月	116	115	109	85		
実利用人数/年	25	21	18	20		
達成率						
延利用日数/月	84%	74%	63%	65%	0%	0%
実利用人数/年	167%	124%	95%	95%	0%	0%

平成27年9月に訪問型対応の新規事業所が開所したことにより実利用人数が増えた。標準利用期間を2年間と設定するが、1年間の延長が必要なものも多し。生活訓練の利用期間後、就労への移行が進められるかが課題となっており、訓練終了後生活介護へ移行される方がおられる。

※圏域の生活訓練事業所…しろやまコミュニティハウス、甲賀福祉、スポットライフくればす

<短期入所>

平均延利用日数/月、(実利用人数/年)

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	150	165	179	150	167	175
実利用人数/年	61	67	73	48	49	50
実績						
延利用日数/月	117	136	142	156		
実利用人数/年	44	50	58	49		
達成率						
延利用日数/月	78%	82%	79%	104%	0%	0%
実利用人数/年	72%	75%	79%	102%	0%	0%

短期入所の支給申請者は微増。ほぼ半数の人が安心決定での支給決定である。介護者の入院などに伴って緊急に利用するケースも増加し、年間の利用日数は年度ごとに上下している。介護者のレスパイトのため利用ニーズは高く、希望した際に利用できないこともあり、供給量不足であることは否めない。

※圏域の短期入所事業所…るりこう、信楽学園、もみじ、あざみ、落穂寮、一麦、近江学園、信楽青年寮、紫香寮病院

支援・サービスの実績

<自立生活援助>

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量 実利用人数/年				1	2	2
実績 実利用人数/年				0		
達成率 実利用人数/年				0%	0%	0%

平成30年度から始まったサービス。1月時点で圏域内のサービス提供事業所、サービス利用者ともにまだない。グループホームなどの共同生活でなく、1人暮らしを希望される方の自立生活を支えるうえで、サービスの参入が望まれる。

※圏域の共同生活援助(GH)事業所数…33か所

<共同生活援助(グループホーム)>

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量 実利用人数/年	45	49	53	45	46	47
実績 実利用人数/年	42	39	43	46		
達成率 実利用人数/年	93%	80%	81%	102%	0%	0%

平成28年度に市内に2箇所GHが新設され、入所者の調整を行い、28年度、29年度に合わせて4名が入所された。

入所のタイミングが難しく、体験入所を行われるが実際の入所に至らない場合も多い。今後は地域生活移行に向けて重度障がいのある人なども含め対応できるようにグループホームなどの体制整備をすすめていく必要がある。

※圏域の共同生活援助(GH)事業所数…33か所

<施設入所支援>

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量 実利用人数/年	33	34	35	34	34	34
実績 実利用人数/年	32	31	34	35		
達成率 実利用人数/年	97%	91%	97%	103%	0%	0%

平成29年度、機能訓練で施設入所されていた人が1人退所され、新たに4名の方が施設入所された。うち1名は機能訓練の施設入所であるため、平成30年度8月現在ですでに退所されている。施設入所者の現状として、「児童福祉施設の入所者で18歳に達した時に本人の障がい特性や家庭基盤の脆弱さから引き続き入所の必要な人」また、「介護者の高齢化などにより在宅での生活が難しくなり施設入所を希望される人」などがある。施設入所にあたっては、利用者と施設のマッチングの問題などから甲賀福祉圏域内の施設等への入所が困難なケースもあり、圏域外の施設に入所される現状がある。

支援・サービスの実績

<サービス等利用計画(計画相談支援)> 実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量	344	365	386	399	428	457
実績	306	332	325	295		
達成率	89%	91%	84%	74%	0%	0%

児童除く

※圏域の特定相談支援事業所…14か所

サポートセンター、このゆび、しろやま、あかつき、うるむろ、落穂寮、つくしんぼ、湖南市社会福祉協議会、大木会、あぼし、やまなみ、甲賀市社会福祉協議会、こけっこ、あゆあん、はれるや

H24から障がい福祉サービスを利用する場合には、サービス等利用計画の作成が必須となり、H26年度2事業所、平成27年度2事業所、平成28年度1事業所、平成29年度2事業所の新規事業所が開所された。

委託の一般相談を併設している事業所が担っている件数が依然として多く、一般相談へ影響を及ぼしている。委託の一般相談事業所からケース移管を進めていく必要があり、基幹相談支援センター(H27.10～)が支援を行っている。特定相談支援の単独事業所の参入、開所を進めていくことが課題となっている。

<地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)> (地域移行支援)

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量	1	1	1	1	1	1
実績	1	1	0	0	0	
達成率	100%	100%	0%	0%	0%	0%

これまでの利用者は1、2人に留まっている。

(地域定着支援)

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量	3	3	3	1	1	1
実績	0	1	2	2		
達成率	0%	33%	67%	200%	0%	0%

※圏域の特定相談支援事業所…14か所

サポートセンター、このゆび、しろやま、あかつき、うるむろ、落穂寮、つくしんぼ、湖南市社会福祉協議会、大木会、あぼし、やまなみ、甲賀市社会福祉協議会、こけっこ、あゆあん

支援・サービスの実績

＜児童発達支援＞ 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	105	113	122	110	110	110
実利用人数/年	52	56	60	50	52	55
実績						
延利用日数/月	103	121	84	116		
実利用人数/年	50	56	66	69		
達成率						
延利用日数/月	98%	107%	69%	105%	0%	0%
実利用人数/年	96%	100%	110%	138%	0%	0%

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

発達支援センター就学前サービス調整会議において発達相談後の支援について検討しており、子どもの発達、園での状況、保護者の発達についての理解度、さらにサービス利用の時期などを総合的に判断している。その結果、児童発達支援の利用についても必要な児童が必要な時期に利用することとなりつつある。

＜医療型児童発達支援＞ 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	9	9	9	9	9	9
実利用人数/年	2	2	2	2	2	2
実績						
延利用日数/月	0.6	0	0	0		
実利用人数/年	1	0	0	0		
達成率						
延利用日数/月	7%	0%	0%	0%	0%	0%
実利用人数/年	50%	0%	0%	0%	0%	0%

医療の提供の必要な未就学の障がい児に対する支援として、通所による療育活動を行います。

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

支援・サービスの実績
 平均延利用日数/月、(実利用人数/年)

<放課後等デイサービス>

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	142	172	203	504	544	587
実利用人数/年	28	34	40	69	76	84
実績						
延利用日数/月	275	386	420	549		
実利用人数/年	40	55	61	71		
達成率						
延利用日数/月	194%	224%	207%	109%	0%	0%
実利用人数/年	143%	162%	153%	103%	0%	0%

※圏域の放課後等デイサービス事業所…ひまわり(スマイル、はっぴい)てんてん、さぼてん、キッズステーション
 ※学校就学中の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に扱

<保育所等訪問支援> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月	29	30	31	55	55	55
実利用人数/年				60	60	60
実績						
延利用日数/月	45	54	64	73		
実利用人数/年	59	58	66	64		
達成率						
延利用日数/月	155%	180%	206%	133%	0%	0%
実利用人数/年				107%	0%	0%

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

<居宅訪問型児童発達支援> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量						
延利用日数/月				0	0	1
実利用人数/年				0	0	1
実績						
延利用日数/月				0		
実利用人数/年				0		
達成率						
延利用日数/月				0%	0%	0%
実利用人数/年				0%	0%	0%

平成30年度から創設されたサービスで、重度心身障がいのある子どもなどに対して、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の習得の支援などを行います。

H24.4に新たに創設された事業で、日中一時支援よりも療育的なサービスが受けられること、送迎サービスが受けられることから、利用ニーズは大きく、利用者数・利用日数ともに毎年大きく増加している。30年度は新小学生1年生の対象者が多く、昨年度から利用人数が増加し、利用日数も増加している。

保育所等の施設に通う障がいのある子どもに対して、その施設を訪問して、集団生活の適応のための専門的な支援を行っています。利用者は保育園等と療育教室の連携を希望しています。

支援・サービスの実績

＜障がい児相談支援(計画相談支援)＞ 実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量 実利用人数/年	80	90	100	127	136	146
実績 実利用人数/年	98	109	137			
達成率 実利用人数/年	123%	121%	137%	0%	0%	0%

平成24年から児童福祉法に基づくサービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となった。
利用希望者は増加しているため、児童を対象とする相談支援事業所が不足している状況で、計画相談支援事業所の確保が喫緊の課題となっている

※圏域の障がい児相談支援事業所…5か所
市児童相談、サポートセンター、落穂寮、大木会、あぼし

＜医療的ケア児に対するコーディネーターの配置＞

実利用人数/年

単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
見込量 実利用人数/年				-	1	1
実績 実利用人数/年						
達成率 実利用人数/年				0%	0%	0%

平成30年度から創設されたサービスです。

地域生活支援事業等

支援・サービスの種類	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	備考
理解促進研修・啓発事業	見込量	有無	有	有	有	有	有	有	
	実績	有無	有	有	有	有	有	有	
	見込量	有無	有	有	有	有	有	有	
	実績	有無	有	有	有	有	有	有	
自発的活動支援事業	見込量	力所数	4	4	4	4	4	4	
	実績	力所数	4	4	4	4	4	4	
	見込量	力所数	1	1	1	1	1	1	
	実績	力所数	1	1	1	1	1	1	
居住サポート事業	達成率	力所数	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
	見込量	利用者数	—	—	2	2	2	2	
	実績	利用者数	0	2	2	0	0	0	
	見込量	利用者数	1	1	1	1	1	1	
成年後見制度利用支援事業	見込量	利用者数	1	1	1	1	1	1	
	実績	利用者数	1	1	1	1	1	1	
	見込量	延利用人数/月	35	35	35	45	45	45	
	実績	延利用人数/月	43	43	43	42	42	45	
手話通訳者等派遣	達成率	延利用人数/月	123%	123%	123%	93%	0%	0%	
	見込量	延利用人数/月	2	2	2	2	2	2	
	実績	延利用人数/月	2	2	2	2	2	2	
	見込量	修了見込み者数	20	—	20	—	20	—	
手話奉仕員養成講座事業	実績	修了見込み者数	8	—	19	—	—	—	
	達成率		40%	—	95%	—	0%	—	
	見込量	件数/年	1,195	1,195	1,195	1,578	1,608	1,628	
	実績	件数/年	1,472	1,540	1,574	1,608	—	—	
日常生活用具	達成率	件数/年	123%	129%	132%	102%	0%	0%	
	見込量	延利用時間/年	412	429	446	440	445	450	
	実績	延利用時間/年	494	509	429	316	—	—	
	達成率	延利用時間/年	120%	119%	96%	72%	0%	0%	
移動支援	見込量	実利用人数/月	24	25	26	22	23	24	
	実績	実利用人数/月	22	19	15	17	—	—	
	見込量	件数	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	
	実績	件数	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	I型2 II型1 III型0	
地域活動支援センター	達成率	件数	100%	100%	100%	0%	0%	0%	
	見込量	実利用人数/年	4	4	4	4	4	4	
	実績	実利用人数/年	4	4	4	—	—	—	
	達成率	実利用人数/年	100%	100%	100%	100%	0%	0%	
訪問入浴サービス	見込量	延利用人数/年	5,321	5,775	6,268	3,300	3,300	3,300	
	実績	延利用人数/年	4,105	3,337	2,967	2,765	—	—	
	達成率	延利用人数/年	(327人)	(230人)	(263人)	(303人)	—	—	
	備考	(再掲:障がい児水)ディスクール							
日中一時支援	見込量	実利用人数/年	77%	58%	47%	84%	0%	0%	
	実績	実利用人数/年	—	—	—	—	—	—	

